

決定

行事名	1年生を迎える会【改訂版】		担 当	
育成を目指す資質・能力	徳	親切さ・コミュニケーション能力	郷土	キャリア形成力
ねらい	<p>1 1年生が安心して学校生活を送ることができるよう、優しい気持ちで迎える。</p> <p>2 新たな仲間が加わったことの喜びや歓迎の気持ちを伝え合い、全校で想いを共有する。</p> <p>3 みんなでよりよい学校生活を創り上げるために、自分は何のようなことをしたり、どのような成長を遂げたいかを考える契機とする。</p>			
月 日	5月●日（●）		時 間	1 時 間
対 象	1～4年生（1stステージ）		場 所	体育館（サブアリーナ）
内 容 ・ 方 法	<p>1 各学年は、事前にレクリエーションを決めておく。</p> <p>2 全体の企画・準備・進行は4年生児童が行う。</p> <p>3 集会プログラム ※並び方は別途提案</p> <p>（1）開会の言葉</p> <p>（2）レクリエーション（各学年8分以内 3年生⇒2年生⇒4年生）</p> <p>（3）1年生からのお礼の発表やあいさつ</p> <p>（4）閉会の言葉</p>			
準 備	・教師用椅子 ・マイク（3本） ・椅子（児童生徒は教室から持参する）			
留意点	<p>■取組のねらいや意義については、事前指導を通して十分に理解させる。</p> <p>1 各学年の割当時間を厳守する。</p> <p>2 保護者やCS委員にも案内を発出し、参観可能な行事とする。</p>			
評 価 観 点	<p>1 1年生に対して、優しい気持ちで迎えることができたか。</p> <p>2 1年生を楽しませるレクリエーションを企画・実施し、歓迎する気持ちを伝える取組を行うことができたか。</p> <p>3 よりよい学校生活を創り上げるために、これからどのようなことをしたり、どのような成長を遂げるべきかを考えたりすることができたか。</p>			

行事名	児童・生徒総会【改訂版】		担 当	
育成を目指す資質・能力	徳	コミュニケーション能力	郷土	キャリア形成力
ねらい	<p>1 よりよい学校生活を創り上げるためには、どのような活動が必要か考えたことを伝え合い、これからの活動方針を理解し合う。</p> <p>2 おのおのが学校を構成する一員であるという連帯感を持たせる。</p> <p>3 自治的組織における活動の意義や行動の仕方を理解する。</p>			
月 日	5月●日(●) 10月●日(●)	時間	各1時間(計2時間)	
対 象	5年生以上(2nd・3rdステージ)	場 所	体育館(サブアリーナ)	
内 容 ・ 方 法	<p>1 事前に委員会ごとに活動計画を立てる。</p> <p>2 各委員会の活動計画をまとめ、総会議案とする。</p> <p>3 議案については、事前に学級会などで検討し、委員会への質問・意見の通告を行うとともに、質問者を決定する。</p> <p>4 各学級からの通告を踏まえ、答弁を用意する。</p> <p>5 8・9年生から1名ずつ議長を選出し、議長選出後、議事を進める。</p> <p>6 総会の内容 ※並び方は別途提案</p> <p>(1) 開会の言葉</p> <p>(2) 生徒会長あいさつ</p> <p>(3) 議長選出</p> <p>(4) 議事(質疑応答)</p> <p>①書記局活動計画について</p> <p>②各委員会活動計画について</p> <p>③学級からの提案</p> <p>④その他</p> <p>(5) 議長解任</p> <p>(6) 校長先生のお話</p> <p>(7) 閉会の言葉</p>			
準 備	<p>・机、パイプ椅子(書記局・各委員長・議長) ・マイク4本</p> <p>・椅子(児童生徒は教室から持参する)</p>			
留意点	<p>■取組のねらいや意義については、事前指導を通して十分に理解させる。</p> <p>1 議長選出後には、事前に議事進行について指導しておく。</p> <p>2 学級や学年の課題や問題についても、学級ごとに話し合わせる。</p> <p>3 前向きな協議となるよう事前指導を徹底する。</p>			
評 価 観 点	<p>1 積極的に話し合いに参加し、質疑応答を通してこれからの活動方針を理解することができたか。</p> <p>2 よりよい学校生活をつくるために、今後の委員会活動への参画意識を高めることができたか。</p> <p>3 児童会活動の大切さや意義、取組への参画の仕方について理解することができたか。</p>			

行事名	いじめ撲滅集会		担 当	
育成を目指す資質・能力	徳	親切さ・コミュニケーション能力	郷土	キャリア形成力
ね ら い	<p>1 周りの人の個性を理解し、認め合うことや、排他ではなく協調することの大切さを理解することができる。</p> <p>2 いじめ根絶のために必要だと思うことを伝えたり、受け止めたりし合うことができる。</p> <p>3 誰もが自分らしく安心した生活を送ることができる学校や社会の実現に向け、自分自身が心がけるべきことについて考える。</p>			
月 日	1 1 月 ● 日 (●)		時 間	1.5 時 間
対 象	5年生以上 (2nd・3rd ステージ)		場 所	体育館 (メインアリーナ)
内 容 ・ 方 法	<p>1 各学級では、事前に「いじめをなくすために自分たちにできること・すべきこと」について話し合い、発表者を決めておく。</p> <p>2 全体の企画・準備・進行は児童・生徒会役員が行う。</p> <p>3 集会プログラム ※並び方は別途提案</p> <p>(1) 開会の言葉</p> <p>(2) 生徒会長のあいさつ</p> <p>(3) 児童・生徒会からの提言 ※寸劇やプレゼンテーションなど創意工夫した方式で</p> <p>(4) 各学級からの提言 ※「いじめをなくすために自分たちにできること・すべきこと」の発表</p> <p>(5) 行動宣言の投票・決定 (各学級の提言を受けて、3つの「すべきこと」を決める)</p> <p>(6) スローガンの投票・決定 (個人の作品から事前に5候補に絞っておく)</p> <p>(7) 講評</p> <p>(8) 閉会の言葉</p>			
準 備	<p>・机、パイプ椅子 (書記局・各委員長・議長) ・マイク 4 本</p> <p>・椅子、タブレット端末 (教室から持参する)</p>			
留 意 点	<p>■取組のねらいや意義については、事前指導を通して十分に理解させる。</p> <p>1 保護者や教育長、教育委員、市教委事務局、CS委員にも案内を発出し、参観可能な行事とする。</p> <p>2 砂川市教育委員会の後援行事として実施する (仲間づくり「子ども会議」の発展形)</p> <p>3 砂川高校の生徒の参画を検討する。</p> <p>4 投票はタブレット端末を用いてリアルタイムで行う。</p> <p>5 1st ステージの児童に対しては、決定したスローガンや行動宣言について児童生徒会役員や学級担任が周知し、担任から望ましい人間関係を築いていくことができるような生活を心がけるよう指導を行う。</p>			
評 価 観 点	<p>1 互いの個性を理解し、認め合うことや、排他ではなく協調することの大切さを理解することができたか。</p> <p>2 いじめ根絶に必要なと思うことを伝え合い、行動への決意をもつことができたか。</p> <p>3 誰もが自分らしく安心した生活を送ることができる学校や社会の実現に向け、自分自身が心がけるべきことについて考えることができたか。</p>			

行事名	立会演説会・投票		担 当	
育成を目指す資質・能力	徳	コミュニケーション能力	郷土	キャリア形成力
ねらい	<p>1 学校のよさや課題を振り返り、よりよい学校生活を築くために取り組むべきと考えることを伝えたり、受け止めたりすることができる。</p> <p>2 よりよい学校生活を創り上げていくために必要なことを考え、行動することの大切さを自覚する。</p>			
月 日	10月●日(●)	時 間	各 1.5 時 間	
対 象	5年生以上(2nd・3rdステージ)	場 所	体育館(メインアリーナ)	
内 容 ・ 方 法	<p>1 選挙管理委員会で、事前に進行に関わる役割分担を行っておく。</p> <p>2 全体の企画・準備・進行は選挙管理委員会が行う。</p> <p>3 プログラム ※並び方は別途提案</p> <p>(1) 開会の言葉</p> <p>(2) 選挙管理委員長のあいさつ</p> <p>(3) 立会演説</p> <p>(4) 投票にあたっての諸注意</p> <p>(5) 投票</p> <p>(6) 講評</p> <p>(7) 閉会の言葉</p>			
準 備	<p>・机、パイプ椅子(立候補者・責任者・選挙管理委員) ・マイク2本</p> <p>・椅子、タブレット端末(教室から持参する)</p>			
留意点	<p>■児童生徒会の意義や人選の重要性、取組への協力については、事前指導を通して十分に理解させる。</p> <p>■各学級では、立候補者の主張や人物像を踏まえ、学校の代表となる人選を行う。</p> <p>1 45分間を目安に5分間の休憩をとる。</p> <p>2 演説は、責任者30秒以内、候補者1分以内とする。</p> <p>3 投票はタブレット端末を用いて行う。</p> <p>4 教室に戻ってから取組の振り返りを行い、ねらい達成への深化を図る。</p> <p>■デジタル投票方式をとるが、投票に係る秘匿性を担保する。</p>			
評 価 観 点	<p>1 学校のよさや課題を考え、よりよい学校生活を築くために取り組むべきと考えたことを仲間に伝えることができたか。</p> <p>2 責任者や立候補者の発言を聞き、よりよい学校生活を創り上げていくためのリーダーを選ぶことができたか。</p> <p>3 今後の取組に参画し、リーダーとともによりよい学校生活を創り上げていこうとする行動への自覚をもつことができたか。</p>			

行事名	校内大感謝祭		担当	
育成を目指す資質・能力	徳	親切さ	体	基本的生活習慣
ねらい	<p>1 日常は手の届かない校舎の隅々まで清掃することを通して、日常生活を送る場である学校への愛着を深めさせる。</p> <p>2 清掃活動を通して、環境美化に努める姿勢を育み、整った環境のよさに気付かせる。</p>			
月 日	12月●日(●)	時 間	1 時 間	
対 象	全学年(1st・2nd・3rdステージ)	場 所	各担当清掃場所	
内 容 ・ 方 法	<p>1 時 間 通常の清掃時間(3日間)</p> <p>2 方 法 (1) 清掃場所に集合し、人員の確認をする。 (2) 重点的に清掃するポイントを全体で確認し、役割分担をする。 (3) 清掃を行う。 (4) 1人ひとりから取組の評価を発表させる。</p> <p>3 分 担 縦割り班による清掃活動に取り組みさせる。</p>			
準 備	1 清掃用具については、担当から別途提案			
留意点	<p>1 日常の清掃では手の届きにくい細部まで取り組みさせる。</p> <p>2 高学年がリーダーシップを発揮し、グループごとに主体的な清掃活動に取り組むことができるよう留意する。</p> <p>3 清掃の最後には、取り組んだ全員から一言ずつ振り返りを発言させてから、教師による価値づけを行う。</p>			
評 価 観 点	<p>1 校舎の隅々まで清掃することを通して、学校への愛着を深めさせることができたか。</p> <p>2 環境美化に努める姿勢を育み、整った環境のよさに気付かせることができたか。</p>			

行事名	春の砂川大感謝祭【ボランティア】	担 当	
育成を目指す資質・能力	徳	あいさつ・親切さ	体
ねらい	<p>1 校外活動中に地域の方々に積極的にあいさつをすることを通して、日常から学校での活動を応援してくださっていることに対する感謝の気持ちを伝える。</p> <p>2 清掃活動に取り組み、市街の環境美化を進めることを通して、日常から学校での活動を応援してくださっていることに対する感謝の気持ちを伝える。</p>		
月 日	5月●日(●)	時 間	放課後
対 象	5・6学年有志	場 所	校外
内 容 ・ 方 法	<p>1 時 間 放課後 : ~ :</p> <p>2 方 法 (1) 学年ごとに集合し、清掃場所や方法、グループの確認をする。 (2) 清掃グループごとに必要な用具を受け取る。 (3) 割り当てられた場所に向かい、ごみ拾いを行う。 (4) 回収したごみを指定の場所にまとめ、用具を返却する。 (5) 学年ごとに集まり、代表から取組に関わる振り返りを発表させる。</p> <p>3 分 担 グループごとにごみ拾いに取り組みさせる。</p> <p>4 活動場所 (1) グラウンド (2) 校舎前庭・校舎東エリア (3) 校舎前庭・西側駐車場 (4) 野球場 (R10～) (5) パーク (R10～)</p> <p style="text-align: center;">【行事としては実施しない】 ボランティアを募って 実施する。</p>		
準 備	軍手、バケツ、ごみ回収袋(ボランティア袋)、桶廻		
留意点	<p>1 屋外での活動となることから、交通安全に十分配慮する。</p> <p>2 活動時には地域の方々に積極的に気持ちのよいあいさつをするよう、事前指導を徹底する。</p> <p>3 3 活動の最後に、代表から振り返りを発言させて、担当者による価値づけを行う。</p>		
評 価 観 点	<p>1 活動中に積極的にあいさつを交わすよう指導し、地域の方々に感謝の気持ちを伝えさせることができたか。</p> <p>2 環境美化に取り組むことを通して、地域への感謝や愛着の気持ちを抱かせることができたか。</p>		

行事名	冬の砂川大感謝祭【ボランティア】	担 当	
育成を目指す資質・能力	徳	あいさつ・親切さ	体
ねらい	<p>1 校外活動中に地域の方々に積極的にあいさつをすることを通して、日常から学校での活動を応援してくださっていることに対する感謝の気持ちを伝える。</p> <p>2 独居老人宅等の除雪活動に取り組むことを通して、助け合いや支え合いの大切さに気付かせ、日常の生活でも心がけようとする態度を養う。</p>		
月 日	1月●日 (●)	時 間	放課後
対 象	7・8学年有志	場 所	校外
内 容 ・ 方 法	<p>1 時 間 放課後 : ~ :</p> <p>2 方 法 (1) 学年ごとに集合し、活動場所や方法、グループの確認をする。 (2) 活動グループごとに必要な用具を受け取る。 (3) 割り当てられた場所に向かい、除雪活動を行う。 (4) 学校に戻り、用具を返却する。 (5) 学年ごとに集まり、代表から取組に関わる振り返りを発表させる。</p> <p>3 分 担 グループごとに除雪活動に取り組ませる。</p> <p>4 活動場所 ※決定次第入力 (1) (8) (2) (9) (3) (10) (4) (11) (5) (12) (6) (13) (7) (14)</p> <p style="text-align: center;">【行事としては実施しない】 ボランティアを募って 実施する。</p>		
準 備	防寒着、手袋、長靴、スコップ、除雪用ダンプ		
留意点	<p>1 移動時の交通安全、作業中の怪我に十分配慮する。</p> <p>2 移動時、活動時には地域の方々に積極的に気持ちのよいあいさつをするよう、事前指導を徹底する。</p> <p>3 活動の最後に、代表から振り返りを発言させて、担当者による価値づけを行う。</p> <p>4 活動場所は独居老人宅以外にも社会福祉施設等も視野に入れる。</p>		
評 価 観 点	<p>1 活動中に積極的にあいさつを交わすよう指導し、地域の方々に感謝の気持ちを伝えさせることができたか。</p> <p>2 除雪活動に取り組むことを通して、助け合いや支え合いの大切さに気付かせ、日常の生活でも心がけようとする態度を養うことができたか。</p>		

行事名	芸術鑑賞会		担 当	
育成を目指す資質・能力	知	粘り強さ・協働力	徳	コミュニケーション能力
ねらい	<p>1 演劇や演奏などの芸術発表を鑑賞することを通して、物事に粘り強く取り組むことで技術が向上することや、他者と協働しながら物事を創り上げていく素晴らしさに気付かせる。</p> <p>2 鑑賞を通して、自らの主張や感動を他者に伝える多様な表現方法に気付かせる。</p>			
月 日	7月●日 (●)		時 間	2 時 間
対 象	1～4学年 (1st ステージ)		場 所	体育館 (メインアリーナ)
内 容 ・ 方 法	<p>1 鑑賞演目 「 」</p> <p>2 時 間 10:30～12:05</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>8:30～10:00 会場設定</p> <p>10:15～10:25 児童入場</p> <p>10:30～11:30 鑑 賞</p> <p>11:30～11:35 お礼の言葉</p> <p>11:35～11:45 児童退場</p> <p>11:05～12:05 振り返り</p> </div> <p style="text-align: center; color: blue; font-size: 2em; font-weight: bold;">やらない</p>			
準 備	会場図については、別途提案			
留意点	<p>1 鑑賞時のトイレ休憩は取らず、適宜児童の申し出によりトイレに行かせる。</p> <p>2 演目については、偏りが出ないように内容を年度ごとに精選して行う。</p>			
評 価 観 点	<p>1 芸術発表の鑑賞を通して、技術向上のためには、物事に粘り強く取り組むためゆまぬ努力が必要であることや、他者と協働しながら物事を創り上げていく素晴らしさに気付くことができたか。</p> <p>2 鑑賞を通して、自らの主張や感動を他者に伝える様々な方法があることに気付くことができたか。</p>			

行事名	学園祭		担 当	
育成を目指す資質・能力	知	主体性・粘り強さ・協働力	徳	親切さ・コミュニケーション能力
ねらい	<p>1 自ら選択した役割について、責任を自覚しながら責務を全うさせることを通して、進んで物事に取り組む姿勢や最後まであきらめずにやり抜く姿勢を身に付けさせる。</p> <p>2 各種制作や発表について、仲間と力を合わせて取り組ませることを通して、他者と協働しながら物事を創り上げていく素晴らしさを実感させる。</p> <p>3 それぞれの取組の努力を振り返らせながら、互いの制作物や発表を讃え合うことを通して、それぞれの成長の跡を確かめさせる。</p> <p>4 制作や発表を通して、自分たちの思いを伝える方法や、それらを受け止めることの大切さに気付かせる。</p>			
月 日	9月4日(金)、5日(土)		時 間	8 時 間 (前日祭②、学園祭⑥)
対 象	5年生以上(2nd・3rdステージ)		場 所	体育館(メインアリーナ)
内 容 ・ 方 法	1 日 程			
	<p>【前日祭】※椅子を持参する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー 11:25~12:00 ・児童生徒会企画 13:30~14:15 ・児童生徒退場 14:15~14:25 ・帰りの会 14:25~14:35 ・会場設営/前日準備 14:40~15:20 ・児童生徒下校 15:25 (SB 15:40) 			
	<p>【当 日】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者入場 8:10 開 祭 式 8:35~ 8:55 合唱コンクール(2ndステージ) 9:00~10:30 ステージ発表(3rdステージ) 10:30~11:30 休 憩 11:30~12:30 吹奏楽部発表 12:35~13:00 ステージ発表(2ndステージ) 13:10~14:10 合唱コンクール(3rdステージ) 14:20~15:00 閉 祭 式 15:05~15:20 			
	2 内 容			
<p>【前日祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オープニングセレモニー <ul style="list-style-type: none"> (1) オープニング宣言 (4) 児童生徒会長のあいさつ (2) スライドショー (5) 閉会の言葉 (3) 各学級決意表明 				
<p>【前日祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒会企画 <ul style="list-style-type: none"> (1) 学年対抗ゲーム (2) 縦割りゲーム 				

<p>内 容 ・ 方 法</p>	<p>【学園祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開祭式 ○合唱コンクール <ul style="list-style-type: none"> ※自由曲1曲を合唱する ○ステージ発表 <ul style="list-style-type: none"> ※劇、コント、漫才、バンド、ものまね、大道芸など、自分たちの興味・関心に基づき披露する ○閉祭式 <ul style="list-style-type: none"> ※各種コンクールの審査結果を発表する ※学校長あいさつは閉祭式のプログラムの1つとする。
<p>準 備</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 進行シナリオ、楽譜、ステージ発表に必要なもの（学園祭） 2 合唱コンクールの審査委員の依頼 3 会場設営、各種目細案等については、別途提案
<p>留意点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 前日祭の10日前からを「特別日課」とし、ねらいを意識させながら集中的に活動に取り組ませる。 2 役割分担に関わっては、可能な限り自己決定を促し、児童生徒一人ひとりに活躍の場を設ける。 3 前日と振休明けに1時間ずつ「勤労生産・奉仕」行事として準備・片付けの時間を設ける。
<p>評 価 点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分で決めた役割について、責任をもって進んで取り組み、最後まであきらめずにやり抜くことができたか。 2 仲間と力を合わせて制作物や発表を創り上げ、他者と協働する素晴らしさを感じることもかできたか。 3 互いの努力に敬意を払い、それぞれの制作物や発表を讃え合うことができたか。 4 自分たちの思いを伝える方法や、それらを受け止めることの大切さに気付くことができたか。

行事名	学芸会		担 当	
育成を目指す資質・能力	知	主体性・粘り強さ・協働力	徳	親切さ・コミュニケーション能力
ねらい	<p>1 自ら選択した役割について、責任を自覚しながら責務を全うさせることを通して、進んで物事に取り組む姿勢や最後まであきらめずにやり抜く姿勢を身に付けさせる。</p> <p>2 発表や道具づくりについて、仲間と力を合わせて取り組ませることを通して、他者と協働しながら物事を創り上げていく素晴らしさを実感させる。</p> <p>3 それぞれの取組の努力を振り返らせながら、互いの制作物や発表を讃え合うことを通して、それぞれの成長の跡を確かめさせる。</p> <p>4 制作や発表を通して、自分たちの思いを伝える方法や、それらを受け止めることの大切さに気付かせる。</p>			
月 日	10月3日(土)		時 間	7 時 間 (総練習③、学芸会④)
対 象	1～4年生(1stステージ)		場 所	体育館(メインアリーナ)
内 容・方法	<p>1 日 程 保護者入場 8:10 学 芸 会 8:35～12:05</p> <p>2 内 容 ○劇 1・2年生 20分、3・4年生 30分 ○器楽演奏・合唱 1年生 10分、2・3・4年生 15分 ○表現(ダンス) 1年生 10分、2・3・4年生 15分 ○PTA会長あいさつ ○学校長あいさつ</p>			
準 備	<p>1 劇の台本・小道具・大道具・楽譜・効果音・舞台配置図・放送原稿など(学芸会)</p> <p>2 会場設営、各種目細案等については、別途提案</p>			
留意点	<p>1 発表演目に重複がないよう、学年ごとに調整をする。</p> <p>2 発表演目(内容・数)及び発表時間は、学年の実態に応じて編成する。</p> <p>3 前日祭の10日前を目途に「特別日課」とし、ねらいを意識させながら集中的に活動に取り組ませる。(R7は9月16日(水)～)</p> <p>4 役割分担に関わっては、可能な限り自己決定を促し、児童生徒一人ひとりに活躍の場を設ける。</p> <p>5 前日と振休明けに1時間ずつ「勤労生産・奉仕」行事として準備・片付けの時間を設ける。</p>			
評 価 観 点	<p>1 自分で決めた役割について、責任をもって進んで取り組み、最後まであきらめずにやり抜くことができたか。</p> <p>2 仲間と力を合わせて制作物や発表を創り上げ、他者と協働する素晴らしさを感じることができたか。</p> <p>3 互いの努力に敬意を払い、それぞれの制作物や発表を讃え合うことができたか。</p> <p>4 自分たちの思いを伝える方法や、それらを受け止めることの大切さに気付くことができたか。</p>			

行事名	主張鑑賞会		担 当	
育成を目指す資質・能力	知	主体性	徳	コミュニケーション能力
ねらい	<p>1 社会や生き方等について、自ら考えることや思うことを聴衆に訴えること通して、自身の考えを深め、自らの生活を豊かにしていく糧とする。</p> <p>2 主張者の訴えを聞き、社会や人生などについて多様な見方や考え方があることに気づき、自らの生活を豊かにしていく契機とする。</p>			
月 日	6月●日 (●)		時 間	1 時 間
対 象	5年生以上 (2nd・3rdステージ)		場 所	体育館 (メインアリーナ)
内 容	<p>1 時 間 10:30～11:20</p> <p>2 主張者 8・9年生から3～4名程度とする</p> <p>3 テーマ (1) 砂川市を含む社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など (2) 家庭、学校生活、社会(地域活動)及び、身の回りの友だちとの関わりなど (3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など ※上記のような内容で、心からの思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、自由に柔軟に、飾り気のない言葉でまとめたもの。また、商業的な固有名詞の使用は極力避ける。</p>			
・ 方 法	<p>4 発表時間 (1) 5分間程度 (400字詰め原稿用紙4枚程度) (2) 発表時間は審査の対象とする。</p> <p>5 内 容 (1) 開会の言葉 (2) 学校長挨拶 (3) 審査基準の説明 (4) 主張発表 (5) 講 評 (6) 審査結果発表 (7) 閉会の言葉</p>			
準 備	<p>1 式場設営及び選考審査基準については、別途提案</p> <p>2 砂川市教育委員会の後援を受けて実施し、当日の進行や審査員の依頼、市民や関係機関への周知、空知地区大会への推薦事務全般は教育委員会が行う</p> <p>3 発表生徒の選出や事前指導は砂川学園国語科が行う</p>			
留意点	<p>1 保護者や市民の参観も呼びかけ、青少年の健全育成への理解を深める契機とする。</p> <p>2 審査結果、主張文、講評等は学校と教育委員会が通信等を用いて周知する。</p>			
評 価 観 点	<p>1 社会や生き方等について、考えや思いを聴衆に訴えること通して、自身の考えを深め、自らの今後に意欲をもつことができたか。</p> <p>2 主張を聞き、社会や人生などについて多様な見方や考え方があることに気づき、自らの生活を豊かにしていく契機とすることができたか。</p>			